

家庭



子供に聞かせる話につきて

東 基 吉

話を好むといふことは、殆んど以て生れた子供の天性でありまして、恐らく話を嫌ふ子供といふものはありません。『お父つあん、話をして頂戴！』おつ母さん 昨夜の續を聞かせて頂戴！』とは、毎日毎夜可愛い口唇から溢れ出る望みでありませう。何度聞いた話しても宜い、たいもー大人から話を聞くといふことが、彼等に取りて此上も

ない面白さの様である。だからして、『もー私は残らず話して仕舞つた、もー話は何んにもなしになつた』といつて、切り抜け様としまして、中々承知しません。反つて向から注文します『そんなら桃太郎の話を もー一度』かち／＼山でも宜いから』と云ふ具合で。若し吾々から話して聞かせてやらないとすると、自分から作り出します。いろんな所から材料を持つて来て自分等でさまざまに想像を加へて話を慥らへます。これで見ても、咄しが如何んなに彼等にとつての生命であるかといふことが知れませう。

或學者が、大人が三年大學で勉強するよりも、生れた子供が三年間の間に得る所の知識が、どれ程多いか知れないといつた相ですが、これは、無論種々な方面から得るのに相違ないのですが、子

供が話を聞かされるに依つて、得る所の知識といふものも、其大部分を占めて居ることは疑わらざぬ。だからして、子供に聞かせる話に付きては餘程注意をしなければなりません。先づ話の重要な一つの二つを記して見ませうか。

一、社會の關係を知らせるのです。世の中の即人間界の關係といふものは、種々複雑になつて居まして、到底幼兒には理解は出来ませんけれども、昔話で見ますと、其關係がまことに簡單明瞭に顯はれて居ます。正直でなければ世の中は渡れないとか、不勉強では生存が六ヶ敷いとか、長上には従順であるべき事だとか、弱者は助けべきものだとか、其他種々因果應報の適面なところ、善惡邪正の判別など、まことに分かり易く話に顯はれて居ますから、知らず／＼此時分の子供を

して人生といふことを理解せしめ。將來社會に立つ事の準備を與へ道德上の判斷識見を養成することに成ります。

二、子供に立派な考を抱かせます。六ヶしい言葉で言ひますと、子供に理想を持たせることになりません。桃太郎は知仁勇兼備の大將として。子供の尊敬の中心點になつて居ますが、ケ様な話を聞く度に子供は、此時分からして既に、自分は桃太郎を氣取つて居ます、即彼を自分の理想として自分の行を出来るだけ彼の如くならしめようと望んで居ます。一寸だいをこねるとかあつても桃太郎は決してだいをこねなかつたといつて聞かせる。子供は忽ち肅然として襟を正します。

三、子供の同情心を發達させます。つまり種々な關係が話の中に顯はれて居るのであります。

ら、子供は子供ながらに、種々な境遇に身を置く

ことになり得ます。舌切り雀の話を書く時には、舌

を切られた雀の位置に子供は全く其身を置いて見

て、雀の苦しさを思いやり得ます。同情といふこと

は、つまり人の境遇に、自分の身を置くことであ

りまして、これが即道德の根本となるのでありま

す。大低の悪事は、實際残酷な悪意からして行ふ

ことよりは寧ろ他人の境遇を想像して其位置に自

分を置いて見る力が缺乏してゐるから起るのだとい

ひます。而して語は即此方を養ふものであつて

見れば、此時分の子供の道德の根本を養ふものと

いふべきです。

其他數へ立つれば、澤山ありませう、子供に他

人の考を了解させる力も得させますし、言語を收

得させることにもなり、其他種々な知識をも得さ

せします。

然しながら、總べてのお話が悉く此の如く、

有益で無害だとは申されませぬ。即話の材料に

よりては反つて聞かせない方が宜いのも澤山あり

ます。ですから話にもよりけり得、教育上有益な

話と有害な話とがあることは申すまでもありませ

ん。例令ば

一、繼子苛めの話、

一、動物虐待の話、

一、非常に残酷な話。

一、動物妖怪等に對して恐怖の情を起させる

話、

一、詐偽奸計等凡不徳義の成效を表明せる話、

等は子供に聞かせたくない話の重なるもので、稍大

きくなつてから、盜賊の傳記など（鼠子僧とか、

辨天子僧とかの様な)の様なものを聞かせるなども最も宜しくないと信じます。

猫が物語つたとか、狐が話をしたとか、即動物や無生物が人間の様に顯はされて、其中に道徳上の訓誡を寄せて居る寓言とか、其他之に似た童話とかを聞かせるのは宜しくないとかあるとかの議論もある様です。之等のことや、尙右に擧げた有害だといふ話については、次にお話をすることにして、こゝでは大体子供の話といふものは、教育上これ程の効能があるから決して忽にしてはならぬといふことに留めます。

日常の作法

雨 森 釧

作法といふ事は世間一般に注意致すやうになり

まして、小學校より高等の學校に至るまで女子の學校であれば、恐らくは此科の設のない處はないであらうと思ひます。併其學校にて教しへられた作法か實際實用になりて居りますのは何程位ありませうか。

今諸種の學校にて教しへられて居ります作法は座作進退より品物の進撤配膳まで一通の者につきての扱ひ方で御座います、是等一通の事は貧富貴賤の別なく心得て居らなければなりません、夫故今日の處では何處でも注意して練習を致しますから、大概教はりた丈はちやんと出来ますが、日常手近き周囲の作法には疎い人が多いではないかと思ひます。

作法といへは着物を着替へ、足袋などもはき直しまして整頓した部屋でなければ出来ないかの様